

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：学際、複合、新領域】

大 学 名	京都大学	整理番号	J - 3
拠点のプログラム名称	微生物機能の戦略的活用による生産基盤拠点		
中核となる専攻等名	農学研究科応用生命科学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 清水 昌 外18名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>21世紀の世界的課題である環境保全、資源循環、脱石油の実現に向け、微生物機能を活用した省エネルギー・環境調和型物質生産システムを構築する。この目的のため、我が国が世界をリードしている応用微生物学を基盤とした国際的研究教育拠点を形成する。日本の多様な自然環境に起因する豊富な微生物資源に立脚した微生物機能探索・開発技術は、我が国独自のものであり、特に京都大学農学研究科は世界をリードしてきた。その実績に基づく拠点研究・教育活動は、国内外の産業界との強力な連携のもとに遂行され、微生物機能探索の基礎から開発・産業化までを一貫して行うものであり、化学、生物学、工学、食料科学、環境科学などの多彩な知識・技術を微生物機能開発に集約する学際・複合研究である。さらに、研究開発の現場における実地教育を軸とする大学院教育を通して、産学連携・国際協力の実績を熟知し、微生物機能利用技術を多様な分野へと展開できる研究者の育成を図る。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>現在、研究実績は概ね世界水準にあると認められる。今後、一層の努力により従来から言われている伝統的な有用微生物の分離方法の先を行く新しい技術を開発し、優れた実績をあげ、世界最高水準の拠点形成を目指すことを期待する。</p>			